

－H27年度 西日本弁理士クラブ 若手会主催－

第3回W-1麻雀選手権 開催報告 (報告：細田)



2015年11月14日(土)に第3回W-1麻雀選手権を開催いたしました。昨年同様、予定人員の12名にご参加いただきました。

ここで、麻雀にご縁のない方には一部分かりづらいかもかもしれませんが、本大会の開催形式について説明致します。

本大会では、予選及び決勝・順位決定戦が行われます。予選は三回の東風戦(親が一度回れば終わり)、決勝・順位決定戦は二回の東南戦(親が二度回れば終わり)で行われます。どちらも時間制限が設けられ(予選は35分・決勝・順位決定は60分)、半荘が途中の場合でも、制限時間を超える直前に終了した局でその半荘は打ち切りとなります。

予選では、自己紹介などをしながら全体的に和気あいあいとした雰囲気の中で、ゲームが進行している様子でした。一方で、東風戦一回あたり4～6ゲーム程度という短期戦にもかかわらず、各回いずれも4万点越えのトップ者がでるなど、水面下では激しい攻防があったようです。



決勝は、特に第二戦が見ものでした。決勝第一戦トップの堀喜代造先生が東一局ハネ満アガリでリードをすると、これを追いかける中尾真一先生が、すぐに東二局親ハネ満、親バイ満の連続アガリで一気に逆転。この連続アガリで中尾先生の持ち点が5万点を超え、大勢が決したかと思いきや、南一局、カンドラを4枚のせた堀先生のリーチがなんと3倍満(リーズモ3色ドラ8)に！



これでトップ目に再浮上した堀先生が、その後もリードを見事に守りきり、W-1麻雀選手権2回目の優勝となりました。なお、5～8位卓では本イベント担当の矢野浩太郎先生がトップ、9～12位卓では本イベント担当の齊藤智和先生がトップとなり、麻雀担当の底力を見せました。

熱戦を制し、優勝した堀先生には約束通り今後一年間「西日本で一番麻雀の打てる弁理士」を名乗っていただきたいと思います。参加された方からは「次回以降も開催してほしい」とのお声を頂きましたので、次年度の開催も前向きに検討したいと考えております。

最後に、今回の大会にご参加、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。